

令和5年度事業報告

1. 事業概要

滋賀県の文化活動の活性化および文化・経済の発展に寄与することを目的に、「滋賀県文化振興条例（平成21年7月制定）」の趣旨を踏まえ、平成23年2月に発足した「文化・経済フォーラム滋賀」は令和5年度に13年目を迎えた。新型コロナウイルス感染症対策に追われた3年間を振り返り、文化芸術の復興と未来への投資という観点から、「劇場・文化ホール」の今後を考える事業などを行った。

「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトについて、「2023文化で滋賀を元気に！賞」をはじめ、文化芸術の可能性を地域に取り入れる滋賀アートプラットフォーム事業を実施した。また、文化ビジネス塾では、2024年提言に向け、次世代と文化の地域拠点としての「劇場・文化ホール」について意見交換した。

「文化で滋賀を元気に！」する情報交換の場の提供について、総会において演奏会や講演会、文化経済サロンでは提言に向け専門家を招いて意見交換を行った。

「文化で滋賀を元気に！」する広報活動の展開について、ホームページによる発信や、ニュースレターによる事業の告知・結果概要の報告を行った。

○会員数は下記のとおり。 ※()内は令和4年度会員数

会員数 152 (162)

内訳：個人	79人	〔県内72、県外7〕	(88)
団体	28団体	〔県内27、県外1〕	(30)
法人	45団体	〔県内45、県外0〕	(44)

2. 事業実績

(1) 「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトの実施

① 「2023文化で滋賀を元気に！賞」の実施

文化の力で、活力あふれる地域社会の実現に貢献されている団体または個人に、感謝と今後の活動を期待して表彰する「2023文化で滋賀を元気に！賞」を実施した。県内各地から20件の取組に推薦があり、その中から4件が大賞(1件)と各賞(3件)に選ばれた。

- ・募集期間：8月1日(火)～10月31日(火)
- ・候補件数：20件

★大賞<小原かご 山と生きる暮らしを伝える文化賞> 太々野功氏、荒井恵梨子氏(長浜市)

☆各賞<子どもたちが生み出す国際交流文化賞> 瀬田東国際交流クラブ(大津市)

<かるたで滋賀大好き子を育てる文化賞> 滋賀コレかるたで地域活性プロジェクト(草津市)

<よし笛で人々と水辺を元気に！文化賞> 日本よし笛協会(近江八幡市)

※()内は主な活動地域

○表彰式：令和6年2月17日(土)

受賞者・団体には、表彰状と賞金(大賞10万円、各賞5万円)を贈呈。

② 「文化で滋賀を元気に！」する調査研究、提言

各事業を通して調査研究を行うとともに、地域経済という観点から滋賀県の文化振興について考えた。

ア 滋賀アートプラットフォーム事業の開催

「文化芸術の可能性を地域に取り入れ、次世代にも魅力ある地域づくりを進める」という

提言に基づき、文化芸術を通じた出会いや交流を目的とする「びわ湖・アーティスト・みんぐる」を地元企業等の協力を得て実施した。

○「びわ湖・アーティスト・みんぐる 2023『ガチャ・コン音楽祭 vol. 3』」の開催

令和4年度に引き続き、近江鉄道沿線を会場に『ガチャ・コン音楽祭 vol. 3』（最終回）を開催した。

こどもプログラム「つくるは つづくよ どこまでも」

子どもたちが音楽、ダンス、美術の3コースに分かれて、滋賀の太鼓をテーマにライブで披露する作品づくりをするワークショップを行った。

日 時：9月18日（月・祝）10:00～15:00

*美術は9月3日（日）にアトリエ Soil（東近江市）で実施

会 場：滋賀県立文化産業交流会館（米原市）

ナビゲーター：音楽コース 田辺響氏、山本啓氏

ダンスコース 佐藤健太郎氏、野田まどか氏

美術コース 藤野裕美子氏

ライブパフォーマンス「ジャンルを 越えるよ どこまでも」

近江鉄道「高宮駅」の独特のホーム構造を生かして舞台に見立て、滋賀の太鼓をテーマに、音楽・ダンス・美術のジャンルを越えたパフォーマンスを行った。

日 時：9月18日（月・祝）15:30～16:30

会 場：近江鉄道「高宮駅」（彦根市）

出 演：田辺響氏（パーカッション）、山本啓氏（ヴァイオリン）、
佐藤健太郎氏、野田まどか氏（以上、コンテポラリーダンス）
藤野裕美子氏（美術）、野村誠氏（鍵盤ハーモニカ）

ワークショップに参加した子どもたち

特別参加：i-dArt（香港の障がい者施設のアートプロジェクト）

ディレクター：野村誠氏（作曲家）

共 催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部

後 援：滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会

協 力：近江鉄道株式会社、杉本太鼓商、小野町太鼓踊保存会

○「びわ湖・アーティスト・みんぐる 2023『C³～古典と現代音楽の《関》』」の開催

弦楽四重奏×現代音楽の切り口で、滋賀の魅力を探る演奏会。今回は、世界で高い評価を受けている作曲家・酒井健治氏に新曲を委嘱し、比叡山を音楽で描いていただいた。

*サントリー芸術財団佐治敬三賞 推薦コンサート

日 時：10月28日（土）15:00～16:30

会 場：フィガロホール（大津市）

演 目：ラヴェル 弦楽四重奏曲へ長調、リゲティ 弦楽四重奏曲第1番

酒井健治 弦楽四重奏曲第1番（世界初演） 他

出 演：ルリトラノオ弦楽四重奏団 *本企画のために現代音楽のスペシャリストで結成

亀井庸州氏、松岡麻衣子氏（以上、ヴァイオリン）

安田貴裕氏（ヴィオラ）、竹本聖子氏（チェロ）

共 催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部

後 援：滋賀県教育委員会

協 力：フィガロホール、古民家カフェ SORA、和田神社、マカロン専門店 FUSE

京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

イ 文化ビジネス塾（第16回）

芸術文化を学んだ若者や学生たちの進路に対する考えを通して、芸術文化という産業の未来から地域で芸術文化を届ける「劇場・文化ホール」の今後について意見交換した。

日 時：11月5日（日）14:00～16:30

会 場：滋賀県立文化産業交流会館 小劇場（米原市）

テーマ：“次世代”と考える地域拠点『劇場・文化ホール』のこれから

～芸術・文化を仕事にする？しない？～

登壇者：吉田佐和子氏（(株) Locatell 代表取締役社長、(一社) 福知山芸術文化振興会代表理事）

袴田美帆氏（サクソフォン奏者）、澤田青空氏（大阪音楽大学4年）

粒耒楓彩氏（芸術文化観光専門職大学3年）

中川幾郎氏（帝塚山大学名誉教授）

藤野一夫氏（芸術文化観光専門職大学副学長、神戸大学名誉教授）

進 行：熊井一記氏（劇場、音楽堂等連絡協議会事務局長、神戸文化ホール事業課長）

共 催：滋賀県立文化産業交流会館（ビジネスカフェ in 文化産業交流会館）

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

ウ 提言研究

当フォーラムの事業と連携しながら、滋賀県の様々な現状から文化と経済について、新たな展開につながる提言を行う「提言研究」。令和5年度は、コロナ危機を経験して、文化の地域拠点である「劇場・文化ホール」のこれからについて考えた。

③ 「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進

県内において文化振興に関する事業を行う団体等多くの方が、シンボルマークの利用を通じて、「文化で滋賀を元気に！」していく気運や一体感が醸成されるよう利用の促進に努めた。



(2) 「文化で滋賀を元気に！」する情報交換の場の提供

① 総会・講演会・交流会の開催

講演会は、琵琶湖を臨む田園風景の中にアトリエを構える写真家、今森光彦氏を迎え、自然と人との関わりについて美しい写真とともにお話を伺った。また、3年ぶりに交流会を開催した。

日 時：2月25日(土) 14:00～16:30（演奏会・表彰式・講演会・提言発表）

16:50～17:20（総会）

17:30～19:00（交流会）

会 場：びわ湖ホール小ホール（講演会）、研修室（総会）、ラウンジ（交流会）（大津市）

参加者：（講演会）198人 （総会）44人 （交流会）49人

ア 演奏会：びわ湖ホール声楽アンサンブル

イ 「2022 文化で滋賀を元気に！賞」表彰式

大賞＜画伯の遺言を今に活かし未来に繋ぐ活動文化賞＞

末富孝也氏（企画舎 羅針盤代表）（大津市）

各賞＜子どもたちに感動体験を贈る文化賞＞あしながほほえみプロジェクト（長浜市）

＜百名山伊吹山の花を救おう文化賞＞伊吹山もりびとの会（米原市）

＜猫とアートで地域を繋ぐ文化賞＞一般社団法人コニャンナーレ（湖南市）

ウ 講演会：「琵琶湖水系を撮る」

講師：今森光彦氏（写真家）

エ 第13回総会

＜議 案＞

第1号 令和4年度事業報告(案)について

第2号 令和4年度収支決算(案)について

第3号 令和5年度事業計画(案)について

第4号 令和5年度収支予算(案)について

第5号 役員の改選について

- オ 「文化で滋賀を元気に！」する提言発表
提言：「博物館は地域社会に貢献できるのか
ー近江国の文化財をどのように継承し活用するか、博物館の使命とはー」
発表者：高梨純次氏（公益財団法人秀明文化財団理事、文化・経済フォーラム滋賀幹事）

② 「文化経済サロン」の開催

様々な分野で活躍される方を講師に招き情報交換する「文化経済サロン」。

コロナ禍に文化芸術の分野で経験した活動自粛という危機を経て、改めて文化芸術を提供する地域の劇場・文化ホールはどうあるべきか、専門家からお話を伺った。

聞き手：熊井一記氏（劇場、音楽堂等連絡協議会事務局長、神戸文化ホール事業課長）

ア 日 時：6月18日（日）14:00～16:00

会 場：びわ湖ホール研修室（大津市）

講 演：「コロナ以降に問い直す地域の公共劇場・文化ホールの公共性」

講 師：中川幾郎氏（帝塚山大学名誉教授）

イ 日 時：7月28日（金）15:00～17:20

会 場：びわ湖ホール 研修室（大津市）

講 演：「コロナ禍の危機を経て地域の劇場・文化ホールはいかにあるべきか」

講 師：藤野一夫氏（芸術文化観光専門職大学副学長、神戸大学名誉教授）

(3) 「文化で滋賀を元気に！」する広報活動の展開

① ホームページによる発信

当フォーラムの紹介や入会案内をはじめ、各種事業の情報提供や「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進を行った。

- ・事業の告知、実施報告、提言
- ・規約、役員、総会資料の公表
- ・「文化で滋賀を元気に！」シンボルマーク利用促進 など

② ニュースレター第11号の発行

掲載内容：文化ビジネス塾および文化経済サロン開催報告、第14回総会・講演会の告知、第1回～第13回総会・講演会・提言の記録 ほか

③ 会員活動チラシの送付

会員の活動チラシ等を当フォーラム事業案内に併せて、会員あてに送付した。

(4) 「文化で滋賀を元気に！」する事業への後援、参画等

① 後援：5件（6）※（ ）内は令和4年度実績数

② 参画：「びわ湖の春 音楽祭 2023 ～ウィーンの風～」

開催日：4月29日（土・祝）、30日（日） 会場：びわ湖ホール ほか

③ 加盟：公益社団法人びわこビジターズビューロー

3. 幹事会の開催状況

11回開催

（1月12日（木）、2月9日（木）、3月9日（木）、4月13日（木）、5月11日（木）、6月8日（木）、7月13日（木）、9月14日（木）、10月12日（木）、11月9日（木）、12月14日（木））以上